



# おやごころ

発行年月日:平成22年2月25日 発行:山口県PTA連合会広報委員会

## 山口県PTA連合会

〒753-0072 山口市大手町2-18  
山口県教育会館内  
TEL: (083)925-6778  
FAX: (083)925-3815  
http://www.yamaguchipta.jp/  
e-mail: info@yamaguchipta.jp



山口県児童総数 77,446人・生徒総数 38,107人  
(平成21年5月現在)

### 家庭でできること?

まず、身近なところからはじめよう!

その1. 「いってらっしゃい」「おかえりなさい」「ありがとう」... あいさつのことを発するのはまず大人から!

その2. 我が家の約束ごとを、みんなで話し合い、ひとつ決めましょう。  
例えば、ご飯を残さず食べる・ゲームは1時間だけ...etc.

### ポエム

「ねえねえ、聞いて!」と言うと、お母さんは「ちょっと待って!」と言う  
僕は今聞いてほしいのに

「ねえねえ、聞いて!」と言うと、お母さんは「その前に宿題したの?!」と言う  
僕は何も言えなくなる

「ねえねえ、聞いて!」と言うと、お母さんは「こうすればいいのよ!」と言う  
僕の代わりに何でもやってくれるのは、楽チンだけどおいてけほり

「ねえねえ、聞いて!」 僕が言っているのはたったそれだけ  
何も言わなくていいよ 何もしてくれなくていいよ  
ただ僕の話聞いて

僕も少しは大きくなったよね?  
お友達とけんかをしてもちやんと仲直りできるし  
お母さんが毎日忙しいのもちやんとわかってる

「ねえねえ、聞いて!」  
僕はお母さんに聞いてほしいことがあるんだ  
お母さんにしか言えないことだよ

僕いいこと思いついたんだ  
僕の話が終わったら、今度はお母さんの話を聞かせて  
僕ははってるよ  
お母さんも話したいこといっぱいあるんだよね  
(作者不詳)

96号(前号)の「しっかり聴くこと」を読んで...心に残る「詩」を紹介します。と、久保小学校PTA(下松市)弘中里佳さんより投稿いただきました。

### 編集後記

- ◆あなたのハートにドキッと「おやごころ」を注いだ一年が、ああ過ぎ行く... (瀧)
- ◆多くの方との出会いがあり、実り多い一年でした (杉永)
- ◆一人では何も残せない。でも同じ想いの仲間が集まれば、何か形に残すことができる。この「おやごころ」のように。(八幡)
- ◆楽しく過ごせた一年間でした。とてもよい経験ができました(上野)
- ◆もう思い残すことは何もありません。朝青龍とともに引退します。(池永)
- ◆心が洗われるような一年でした。「子育ては、親の姿勢から」...ですよね。(神杉)
- ◆日々一笑、日々感謝、日々新たな力になれなくて反省、でも楽しくて感謝です。(中野)

みなさんの学校のPTA広報紙が、活動のよき「ビタミン剤」となることをお祈りしています。ありがとうございました。

### 97号 おやごころ編集委員

瀧 優子(山口市)  
杉永美佐子(宇部市)  
八幡 恵美(熊毛郡)  
上野 由香(光市)  
池永 光男(防府市)  
神杉美由紀(美祿市)  
中野 貴夫(阿武町)

## PTAを語ろう!

### 山口県PTA連合会

富川 芳人(会長・萩市) 松本 浩一(副会長・岩国市)  
名護谷正見(副会長・山口市) 野上 優子(副会長・下関市)  
倉本 喜博(副会長・下関市) 瀧 優子(広報委員長・山口市)

瀧 「こうしてPTA活動に関わらなければならぬ?」みなさんの学校で、よくこんな声をきかれることと思います。

野上 「PTAは大変だから」と最初から敬遠する人は確かに多いですね。富川 「忙しすぎるから、わかるけれど」大変だからはどうか?大変なこととは他にもたくさんある。中野 「小学校の義務教育期間に親が関わるのはあたりまえ」と思っています。

松本 最初はくじ引き等でいやいや役員に取り組んだ人も、終えた頃には「あーよかった。楽しかった」という声をよく聞きます。

野上 PTAに限らず「子育てを楽しむ」とする姿勢は大切ですね。倉本 PTAは地域の町内会と組織という意味で考え方は同じで、学校をよりよくしていくことと目的は、ひとりの考えや力ではどうにもならないことがたくさんあります。見守り隊等、地域の方に熱心に関わっていただけると、PTAという組織全体の総意として受け止めていただいているからです。

松本 「保護者みんなの声」を学校へ伝えるためにも必要かと思えます。

野上 PTAがなかったらまず情報交換できる場がなくなって、ひとりでも悩むようになり、ますます子育てが孤立してしまっじやないかな?

富川 親としての責任、社会の一員としての責任を果たしていきましょ。インタビューを終えて...

松本 よく「人のために役に立つ人間になろう」と子どもにいつてきかせますが、まず大人がお手本をみせること。大人がやらないと子どももやらない!

瀧 なにかと「やらされている」感が強い印象のPTA活動ですが、何事も経験...しかも、子どもの親であるときにしかできない貴重な経験ですね。

富川 そうですね。普段から人間関係ができていけば学校で何か問題が起きた時、すぐにサポートすることができそうです。

松本 子どもを介して学校をサポートしていく(支えていく)ことがPTA活動のいちばんの役割ではないでしょうか。

野上 特に窓口である教頭先生の役割も大きいと思います。先生と保護者の「橋渡し」という重要な役割を担っていますね。

松本 コミュニケーションをとることは、先生も保護者もお互いを知るということに大いに役立っていると思います。

富川 PTAの活動を大いにコミュニケーションの場に活用してほしいと思います。

倉本 先生方、学校長のPTA活動に対する考えかたにより、運営のスムーズさも違ってきますね。

野上 コミュニケーションといえは、PTA:Tである先生学校との関わりもとても重要かと思えますが?

### ◆PTA会員の補償制度◆

個人で加入 各PTAが団体で加入

#### 小学生・中学生総合保険制度

子どものケガ・賠償責任・育英費用  
細菌性食中毒・熱中症  
病気の補償

大好評「自転車保険セットプラン」  
お子さまの自転車事故によるおケガの補償が手厚くなります。

新年度に各学校を通じて加入者を募集します。

〇制度引受け保険会社: AIU保険会社

#### 山口県PTA安全互助会

PTA行事の参加者(保護者・教師・児童、生徒・会員と生計を共にする同居の親族・登録されたボランティア参加者)のケガの補償・賠償責任の補償

各学校のPTAを通じてご請求ください。

〇問い合わせ先/ 山口県PTA連合会 ☎(083)925-6778

# 広報紙よ、PTAに新しい風を巻き起こせ!



# ★ ★ 第35回 PTA広報紙コンクール結果



●一次審査 1月 8日(金)  
●二次審査 1月16日(土)  
於：山口県教育会館

応募総数 **152点** 小学校104点 中学校 48点

応募広報紙の中から  
ひときわ目をひいた  
Good jobな記事を  
紹介します!

## 知事賞

## 知事賞

周南市立 徳山小学校



Good job

こちらが常連校の勝山中学校。この広報紙は何といても、表紙のデザイン。生徒のイラストで配置されています。152点の広報紙を審査していても、この表紙が目が止まってしまうのは、私だけでしょうか?

防府市立 国府中学校



## 教育長賞

下関市立 勝山中学校



Good job

## 教育長賞

萩市立 福栄中学校



Good job

小規模校ながら毎年大健闘の福栄中学校。卓越したレイアウトで思わず読んでしまうそんな広報紙です。子ども達の思春期をテーマにした特集記事は、小規模校ならではのキメ細かい配慮が感じられます。

## 教育長賞

山口市立 二島中学校



Good job

年間を通して、エコをテーマにした特集記事が目立ちます。二島中オリジナルキャラクター「アースレンジャー」が登場し、環境問題に取り組んでいます。行政の担当者との協力を得てタイムリーな情報を提供しています。また、表紙のデザインも良く出ています。

## 教育長賞

美祿市立 大田小学校



Good job

PTA 活動の充実ぶりがうかがえる広報紙です。地域の素材を生かし、地域の方々とともに取り組んだ活動が紹介されています。また、学校の教育方針の核心を問いただした座談会の記事は、保護者にとって参考になる内容だったように思います。

## 審査結果

おめでとうございます

<b>知事賞</b>	国府中学校 徳山小学校	<b>教育長賞</b>	二島中学校 勝山中学校 福栄中学校	山大附属光小学校 大殿小学校 新田小学校	須恵小学校 大田小学校
<b>会長賞</b>	東中学校 平生中学校 山大附属光中学校	周陽中学校 佐波中学校 由宇小学校	白石小学校 良城小学校 大内南小学校	秋穂小学校 松崎小学校 佐波小学校	右田小学校 福川小学校(萩) 川上小学校(宇部) 豊浦小学校
<b>優秀賞</b>	麻里布中学校 鴻南中学校 山大附属山口中学校 華陽中学校 華西中学校	右田中学校 萩西中学校 東小学校 美川小学校 和木小学校	柳井小学校 佐賀小学校 下松小学校 公集小学校 塩田小学校	今宿小学校 富田東小学校 小郡小学校 牟礼小学校 勝間小学校(防府)	大道小学校 滝部小学校 樺西小学校 弥富小学校 明倫小学校(長門) 豊田中小学校

優良賞 49校 努力賞 48校 ●印 デザイン賞(審査員特別賞) 審査委員：各界広報関係者・県教育委員会 県小中学校校長会・県内PTA代表委員ほか

「部活」ということはを耳にするだけで、胸に熱きものを感じる大人も多いのではないだろうか。さて昨今、そんな部活も少し様相をかえつつあるようだ。

運動部を例に話をしてみよう。部活は本来、生徒たちが学年を超えて自主的・自発的に個々の能力や個性の伸長を図るとともに、社会性や協調性、連帯感を培うことが目的とされる。

しかし、近年のスポーツ少年団の普及からか、中学校の部活がスポ少の延長線上にあると勘違いしている大人も少なくないようだ。試合の送迎はあたりまえのこと。時には、相手チームの顧問や審判の方に、生徒ではなく保護者がお茶を出している光景もみうけられるとのこと。

結果の出ない部では、指導のあり方などに保護者が口をはさみ、生徒と顧問、あるいは

生徒同士の間関係にまで亀裂を生じさせるような事態が起こることもあるという。

また一部には、「部活は、結果さえ出ればいい」「好きな部活さえすればいい」と学校生活本来の意義から目を背けてしまう親や子ども姿があることを聞くこともある。

「学校生活にいきるための部活でなければ意味がない」これはある中学校校長のことばである。

子どもの個性や、世界を広げる大切な場所であり、多くのことが部活を通じて育ち、



日々の生活すべてにつながっていく。あいさつも、服装もそうである。

しかし、試合の行き帰りに、自転車の乗り方やコンビニでの買い食い等生徒のマナーがよくないと苦情が学校へきたり、指導を受ける生徒も少なくないという現実もあると聞く。悲しい話である。勝利の喜び、敗れて流す悔し涙、日々の厳しい練習もすべてぶち壊しである。

本当に強いチームは、人を育て、心を育んでいく。仲間を信じ、助け、支えるという相手を思いやる大切な心を育てるとともに、強い自分をも育てていく。

そんな部活をめざして私たち保護者はどのように関わっていくべきなのだろうか。

それは、がんばっている子どもと先生(学校)を、まずは「心」で支えていくこと。とりわけ、子どもが苦しんでいるとき「大丈夫だ

から」と、ぎゅっと心を抱きしめるような家庭でのあたたかい励ましを大切にしていきたい。

また、部活の状況を知り、顧問の先生とのコミュニケーションを図ることも不可欠であることは言うまでもないであろう。

身近なところで提案です。冒頭で述べた保護者の「お茶たし」の是非も少し考え、執拗(しつよう)な大人の介入は最小限にして、子どもの自立をそつと見守り、応援し続けようではありませんか。

大人の価値観や満足感に左右されない、子どもが育つ部活って一体何だろう。時には立ち止まって、考えてみる必要があるのではないだろうか。

「三年間みんなががんばってよかった」と子どもたちの心に豊かに残る部活となることを願いながら。

(写真はイメージです)